

シルバー いせはら

会報 第22号

平成20年7月15日

発行

社伊勢原市シルバー人材センター
〒259-1131
伊勢原市伊勢原2-7-31シティプラザ1F
TEL 0463-92-8801
FAX 0463-92-0008

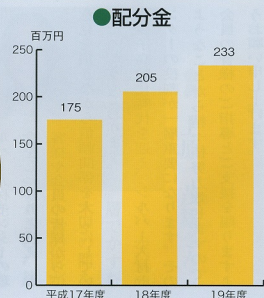
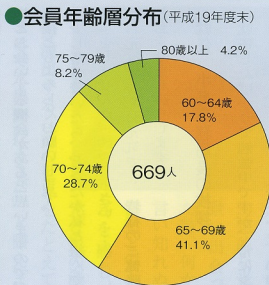
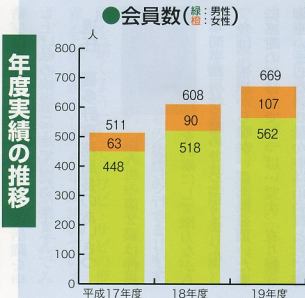
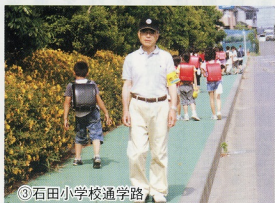
会員の感想

- ①月森勇三さん
丁度丸3年になりますが、雨の日には特に子どもがすべらないよう、信号機を渡る時には気がつかっています。
- ②大津雅弘さん
希望に輝く子どもたちの安全を見守り続けたい。
- ③小菅哲雄さん
子ども見守り3年目
微力ではあるが、子どもたちの安全を願い明日も又……
- ④坂根俊秀さん
ただ、ただ、安全に楽しく通学できるよう、皆んなで心がけたいものです。



子ども見守りボランティア 活動概要 (平成19年度)

登録会員	67人
活動記録提出会員	58人
総時間	8,643H
1人平均時間	149H
延日数	5,167日
1人最多時間	900H



平成20年度
第1回総会配分金総額前年比13%増加
愛着をもつてふるまふことを呼べるまちづくりを

去る5月28日(水)シテイプラザにおいて通常総会が開催され、平成19年度事業報告、同収支決算、平成20年度補正予算、同役員の選任の4議案が承認されました。(出席者103名、委任状356名)

長塚市長の挨拶



平成20年度第1回伊勢原市シルバー人材センター通常総会にお招きいただきありがとうございます。3月には平成19年度第2回の総会に出席いたしました。2ヶ月たち紫陽花の季節となりました。

また、私が何う前に18名の方の10年会員の表彰式がありました。皆様方のご努力に深く敬意を表したいと思います。皆様方の仕事に対する真面目な姿勢がシルバーの発展を支えてきたものと思います。こうした中でシルバー人材センターの活動状況を見させていただき、民間事業所や一般家庭など地域に密着した仕事が増えていることは、日頃から真面目で責任ある仕事ぶりが評価

されているものと考えております。また会員にも見守りボランティア、そして本日講演が予定されている村越理事による故郷大山の自然を愛するボランティア活動など、伊勢原市が目指している「愛着をもつてふるまふ」と呼べるまちづくりの先遣隊を担っていることを思うと心強く感じられます。

伊勢原市におきましてもまちづくりの指針「いせはら21プラン」における4本柱の一つに「愛着をもつてふるまふ」と呼べるまちを掲げております。まさに皆様方は第二の人生に、第二のステージというところで伊勢原市に愛着をもつて故郷と呼べるまちの実現に取り組んでいただけたらということを考えております。こうした活動を継続していただけたらにも、健康に留意され、活躍されることをお祈りします。



長谷川理事長の挨拶

皆さん今日は大変お忙しい中ご出席ありがとうございます。あやめ祭りも開催される爽やかな新緑の候となりました。

今日は平成19年度の事業報告と決算報告をさせて頂く総会です。

設立10周年記念事業も無事終了し順調に推移しています。これも皆様の仕事に対する真剣な取り組みが評価されたものでしょう。3月末の正会員数は6691名、このうち19年度中に就労した会員は512名で就業率は76.5%でした。働いた会員の一人当たりの収入は月額3万8千円ほどで、昨年と比べ、7%ほどの伸びとなりました。シルバー人材センターは単に働くだけでなく、生き甲斐を見つけて頂く場でもあります。先日5月21日の日帰りバス旅行「初夏の房総路」はとても好評でした。旅行同好会の幹事長長屋さんに感謝いたします。

また今年度は特に「子ども見守りボランティア」の活動に力を入れたいと思います。

現在67名のご協力を得ていますが、更なる登録を希望します。また今日、講演を予定している村越理事は、モミの立ち枯れの原因は蔓の絡み付きにあると確信し、モミの巨木を助けるボランティアをたった一人で始め、助けた巨木は300本以上になるとのことです。ぜひご静聴をお願いします。今日は役員改選の議題もあります。その一人に喜多野事務局長が5月31日付で退職いたします。当センターの発展にご尽力をされましたが、伊勢原市の選挙管理委員としてこれからは重責を担うこととなります。

結びに皆様方の益々のご健勝とご活躍を申し上げます。し上げの挨拶とさせていただきます。

退任 喜多野事務局長のあいさつ



「人生の第二幕は仲良く、楽しく行きましょ」を口癖にして微力ながら

5年間事務局長を務めさせて頂きました。今は、皆様から暖かいご支援を頂いた事に感謝の気持ちでいっぱいです。有り難う御座いました。6月からは正会員として皆様とお会いする機会があると思いますので、今後ともよろしくお祈りします。

少し落ち着いたら、どなたか私と組んで仕事をしませんか、誘ってください。……。

お元気で!! お元気で!! 皆様のご健勝とお幸せをお祈りします。

就任 小島事務局長の挨拶



就任したばかりで勉強中ですが、常にシルバー人材センターの理念をしつかりと捉え、お客先や会員の皆様からご意見を頂きながら信頼関係を大切にしていきたいと考えております。

少子高齢化時代を迎え、シルバー人材センターの役割が一層重要になります。そのようなことから精一杯努力致しますので、会員の皆様のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



10周年記念作品展から

袋物作りと歩んだ人生

会員 平良 ヒデ子さん

私は、沖縄県石垣島出身です。

19歳の時、結婚し子供6人に恵まれました。生活がとてもしなから出来たので、自宅で子育てをしながら出来る仕事がないか探していたところ、みんさー工芸館という沖縄の伝統工芸品を作っている所の袋物縫いの仕事を一つつきました。

綿糸を藍染めし、機織りして出来た反物を受け取り、それを巾着袋やバッグ等に仕上げるのが、私の仕事でした。殆ど手作業で型紙から生地を裁断して、底を縫い付けて形を作つて、紐通しをして完成です。

袋物縫いの仕事にも慣れた頃、子供たちも一人ずつ、巣立っていった中、突然、主人が他界しました。平成元年、主人は52歳、私46歳の時でした。そんな中、子供たちの説得で、生まれ育った石垣島に別れを告げて、平成13年、上京してきました。その後、娘の勧めで津田沼にあるユサワヤ芸術学院へ通い、4年間勉強

して、バッグ・袋物講師養成講座の全課程を終了し、平成16年に指導員の資格を得ました。

この写真の作品は、今は亡き母の古い帯を解いて、ポストンバッグとトートバッグをセットで作つた、思い出一杯の作品です。

生計を立てるために始めた袋物縫いでしたが、今では私の心の支えとなっています。

現在、シルバー人材センターの紹介で、スーパーのデリカ部門で働いております。これからも、色々な事に挑戦し、「日々勉強！」と「感謝！」の気持ちをお忘れずに、頑張っていきたいと思っております。



私の水墨画

会員 上原 茂雄さん

皆さんから、よく趣味はと聞かれると、水墨画と大輪の菊づくりと答えます。「高尚な趣味ですね」とよく言われますが、自分としてはそれ程水墨画が高尚な趣味とは思っていませんが、どうでしょう。

私が水墨画を始めようとしたきっかけは今から6年前、夫婦でカナダ旅行のツアーに参加した時、8日目の夕食時に4人席のテーブルにツアー仲間の二人の女性が座られました。私の前の方が水墨画の先生だと言う事を、一方の先生の友人だという人から聞きました。「先生は横浜に住まわれて伊勢原にも教室を持つているんですよ。少しでも水墨画に興味がある様でしたら一度教室を見に来ませんか」との話となり、その時点で考ええてみましようとの答えをしました。

自分としては水墨画に対して、少しは興味があった事は事実で、半月後、教室に行く前に水墨画とはどんな世界なのか、書店で水墨画入門の立ち読みをしていました。

霧に包まれた山々の峰が、影絵のようにに車窓の奥をゆつたりと流れてい



く。空気の層でかすむ木々の間を小鳥の影がよぎる。旅先でそんな幻想的な光景に出会った時、何か言い知れぬ郷愁と安らぎを感じ、光と影の濃

淡が演出する、その世界をたどって「まるで水墨画のようだ」と讚えます。墨色の持つ深い味は、墨の濃淡と、にじみ・ぼかし・筆のかすれ等で無限の広がりを持つ墨の世界で、心楽しく遊んでみませんかとおりました。

それ以降、私の趣味の一つとして天気の良い日とか、雨の日を選んで水墨画を描くようにして、ワビ・サビの世界を何とか楽しめ6年間続いています。私と一緒に水墨画を楽しんでみませんか。

講演会の記録



H20.5.28水総会終了後開催。テーマは「再び大山の原生林を訪ねて」講師は村越茂喜さん

史跡めぐり同好会



H20.4.2水 愛甲石田駅周辺ガイド 三上利栄さん 参加者23人

講習会の記録



①健康講習会 H20.3.27水、講師は市健康管理課・古河千鶴さん



②刈払機操作講習会 H20.6.17火・18水 参加者延べ14人

緑花まつりリサイクル展2008



H20.5.10土・11日市体育館で公園緑花まつりと同時開催。売上げ点数は301点。

配分金支払日

平成20年7月から9月までの支払日は次のとおりです。

7月分 8月15日金
8月分 9月12日金
9月分 10月15日水

役員人事

（5月31日）退任

常務理事 喜多野昌男（専任）
理事 遠藤 義男（嘱託）

（6月1日）就任

常務理事 小島眞喜夫（専任）
理事 黒田 義夫（嘱託）
成田 朝光（嘱託）
矢作 政行（嘱託）

水墨画同好会会員募集

新規に発足させたいと思いますので、経験の有無を問わず、希望者は事務局☎8801まで申し込んでください。

秋の一泊バス旅行案内

実施日 平成20年11月16日（日）17日（月）
一泊

行き先 茨城・筑波山方面
対象者 会員・ご家族・ご友人
詳細は後日配布のパンフレットを参照してください。

第5回バス旅行 5月21日 参加者48人

潮風に心洗われる房総半島巡り

コース 久里浜港—金谷港—鋸山ロープウェイ—館山市内—野島崎灯台—誕生寺—海ホテル



この度の旅行は私にとって千載一遇の思いで参加させて頂きました。

久里浜港からフェリーに乗船し、潮風を受けながら爽快な気分の船旅でした。昔は採石で名高かった鋸山を、ロープウェイで上り、山頂に着いて展望したときの絶景感は何と表現したらよろしいでしょう!! ふと上空を見上げると、意が悠々閑々と輪を描いて飛んでいました。殺伐とした世の中、我々にもあのような空間があればなーと……。

館山では和やかな内での昼食後、野島崎灯台を見学しましたが、急勾配の螺旋階段を登っての展望台の眺めは、美しい海岸線、新緑の山々、港の漁船ありで、360度の景色は素晴らしい、灯台を背景にして、全員で集合写真を撮りました。また、誕生寺では、案内人の説明で不惜身命な精神を感じた目連聖人の霊場へ参拝し、そして、初めて地にする東京湾の中心にある「海ホテル」で休憩をとりま

会員 渡辺 昇さん



野島崎灯台を背景に全員集合